

誰かのために、他の人や過去と違える力

講演概要

博士という資格は、どんな意味があるのでしょうか。というのも、博士人材を増やそうという動きがあり、であればアカデミア以外にも活躍の途があるに越したことはないわけですが、だとするとその能力をもう少し確かに説明できる必要があると考えるからです。博士人材というと高度専門人材というイメージもあります。ですが専門が優れているというだけではないという声もあります。博士号を受けるには、論文を書いて内容を審査で認められた経験が必要というのは、およそ一致するところだと思います。では論文を書くというのはどういうことなのでしょう。それは極めて簡潔に言えば、過去や他者と自分の言う内容がどう違うのかが明確にできるか、他者にもたどれる証拠でその内容が支えられているか、という二点が満たされているかどうかなのです。これらが一定期間内に一定レベルに達する内容にできたという証が博士号の意味と言えそうです。他者や過去と違う必要に迫られるのは、誰かが必要とするが、正解がわからない事態だと思います。こういう事態が起こるのはアカデミアだけではなく、産業を含め広く人間社会でどこでもあるのではと思います。こうしたところから博士人材とはどういう人たちと考えられるかを、より深めてみたいと思います。

日時

5/30 (金) 16:00-17:00

場所

オンライン(Zoom)開催参加
費用**無料**

※下記よりお申込みをお願いいたします

講師

狩野 光伸 先生 岡山大学副理事・副学長

東京大学医学部卒業・大学院医学系研究科修了(医学博士)。臨床医としての経験を経て、東京大学にて老年病学・分子病理学やナノバイオ研究に従事し、MD 研究者育成プログラムにも携わるなど、医学研究と人材育成の両面で豊富な実績を有する。2012年より岡山大学大学院医師薬学総合研究科教授、同大学医師薬学総合研究科副研究科長、同大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科教授、同大学薬学部長等を歴任し、現在は同大学副理事(DE&I 担当)・副学長(未来人材創生担当・附属学校園担当)として博士人材を含む未来人材の育成に取り組む。

また、文部科学省 科学技術・学術審議会委員(人材委員会主査・国際戦略委員会主査代理)、内閣府日本学術会議委員、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構客員研究員、本田財団業務執行理事、文部科学省科学技術・学術政策局科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」アドバイザー委員会委員等を兼任。科学技術政策と人材戦略の両面で幅広く活躍中。

本セミナー参加ご希望の方は、下記 URL または右の QR コードより
参加登録をお願いいたします。
前日(5/29)15 時までに、セミナーへの参加 URL をメールにて送付いたします。

<https://forms.gle/dnTNQMPZibJggHNh9>

お問い合わせ先： C-ENGINE 事務局 ☒ contact@c-engine.org ☎ 075-746-6872



主催：一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)

<https://www.c-engine.org>



C-ENGINEは、産と学の交流を通してイノベーションを創出できる人材の育成を目指す
大学と企業のコンソーシアムとして、教育的研究インターンシップを推進・実施しています

C-ENGINE 研究インターンシップ

検索

